

平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ガーラ

コード番号 4777 URL <http://www.gala.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役グループCEO

(氏名) 菊川 暁

問合せ先責任者 (役職名) グループ戦略部 部長

(氏名) ジョーシ ガブリエレ

TEL 03-5778-0321

四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	531	48.5	△354	—	△366	—	△361	—
28年3月期第3四半期	358	△28.0	△390	—	△392	—	△415	—

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 △370百万円 (—%) 28年3月期第3四半期 △417百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	△22.83	—
28年3月期第3四半期	△26.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	985	513	50.8	31.59
28年3月期	1,357	883	63.4	54.31

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 500百万円 28年3月期 861百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	0.00	—		
29年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

当社及び当社グループは、スマートフォンアプリ事業における、アプリの開発やダウンロード配信が予定どおりに進まない可能性や、ダウンロード配信開始後のアプリによる課金収入の予測が極めて困難であり、また、オンラインゲーム事業における、既存タイトルのバージョンアップによる事業予測が極めて困難であることから、業績予測の公表を差し控えていただいております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期3Q	15,854,800 株	28年3月期	15,854,800 株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	— 株	28年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期3Q	15,854,800 株	28年3月期3Q	15,605,129 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記載等についてのご注意)

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、P3.「1. 当四半期に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算説明補足資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料については、決算発表後にホームページに記載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社及び連結子会社（以下、「当社グループ」という。）の当第3四半期連結累計期間における業績の概況は、連結売上高531,793千円（前年同四半期比48.5%増）となり、増収となりました。

これは、スマートフォンアプリ事業の売上高が前年同四半期と比較して大幅に増加したことによります。

また、スマートフォンアプリ事業の売上高の増加に伴い売上原価が増加しております。

販売費及び一般管理費につきましては、前年同四半期と比較して人件費の減少があったものの、マーケティング活動費用が増加したことから微増となりました。

上記の結果、営業損失354,055千円（前年同四半期営業損失390,996千円）、経常損失366,414千円（前年同四半期経常損失392,115千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失361,904千円（前年同親会社株主に帰属する四半期純損失415,357千円）となりました。

セグメントの業績の概況は、次のとおりであります。

#### ① 日本

日本セグメントでは、当社が平成28年5月から「Arcane（アーケイン）」英語版（Android）のダウンロード配信を、北米、アジア、オセアニアその他の地域において開始し、英語版（iOS）の配信についても平成28年8月に開始しております。更に、平成28年9月に南アメリカ、平成28年10月にヨーロッパにおいて、それぞれダウンロード配信を開始しております。

また、「Arcane（アーケイン）」の日本語版につきましては、国内子会社㈱ガーラジャパンにおいて、平成28年8月より配信を開始しております。

配信開始後の売上高は概ね順調に推移しており、前年同四半期と比較し売上高（内部取引を含む）が大幅に増加いたしました。なお、売上高の増加に伴う売上原価の増加により、営業費用が増加しております。

これらの結果、日本セグメントにおける売上高は286,702千円（内部取引を含む）と前年同四半期比で211,482千円（281.2%）の増加となり、セグメント損失が341,543千円（内部取引を含む。前年同四半期は269,254千円の損失）となりました。

#### ② 韓国

韓国セグメントでは、Gala Lab Corp.のオンラインゲーム事業で主力ゲームの「Flyff Online（フリフオンライン）」及び「Rappelz（ラペルズ）」において、ユーザーへのアイテム販売減少によるロイヤリティの減収やライセンス期間終了によるライセンスフィーの減収等から売上高が減少し、スマートフォンアプリ事業では、「Flyff All Stars（フリフオールスターズ）」のサービス終了に伴いロイヤリティ収入（内部取引）が減少したものの、「Arcane（アーケイン）」の運営管理業務収入（内部取引）が増加いたしました。

費用面では、売上高の減少に伴う業務委託費の減少及び開発費の資産計上等により売上原価、販売費及び一般管理費ともに前年同四半期と比較し減少いたしました。

これらの結果、韓国セグメントの売上高は319,780千円（内部取引を含む）と前年同四半期比で16,214千円（4.8%）の減収となり、セグメント損失が73,191千円（内部取引を含む。前年同四半期は123,960千円の損失）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて370,121千円減少し、513,797千円となりました。

主な増減は、資産では前払費用が417,725千円、売掛金が46,484千円減少した一方で、現金及び預金が76,875千円、ソフトウェア仮勘定が75,861千円増加しました。負債では、短期借入金が98,400千円減少した一方で、未払金が58,538千円増加いたしました。純資産では、利益剰余金が361,904千円減少した一方で、為替換算調整勘定が1,557千円増加いたしました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、スマートフォンアプリ事業における、アプリの開発やダウンロード配信が予定どおりに進まない可能性や、ダウンロード配信開始後のアプリによる課金収入の予測が極めて困難であり、また、オンラインゲーム事業における、既存タイトルのバージョンアップによる業績予想が極めて困難であることから、業績予測の公表を差し控えていただいております。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度において営業損失426,822千円及び親会社株主に帰属する当期純損失470,952千円を計上しております。また、当第3四半期連結累計期間においても売上高は531,793千円と前年同四半期比48.5%の増加となったものの、営業損失354,055千円及び親会社株主に帰属する四半期純損失361,904千円を計上しており、現在の低迷した売上状況が継続すれば営業損失が継続し資金繰りに懸念が生じる可能性があります。当該状況等により継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当社グループでは、当該状況を早期に解消又は改善すべく対応策に取り組んでおりますが、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。なお、継続企業の前提に関する事項及びその対応策に関しましては、「4. 四半期連結財務諸表（3）四半期連結財務諸表に関する注記（継続企業の前提に関する注記）」に記載しております。

また、当社グループは、平成28年3月期末において平成23年4月1日以降開始する事業年度について5期連続で営業利益のマイナス、4期連続で営業活動によるキャッシュ・フローがマイナスとなったことから、有価証券上場規程第604条の2第1項第2号に定める上場廃止基準に係る猶予期間に入りました。平成29年3月期の営業利益及び営業活動によるキャッシュ・フローがいずれもマイナスに留まった場合には、当社株式は、JASDAQ市場の上場廃止基準に抵触し、上場廃止となり、ひいては当社グループの事業に支障を来し、業績及び財政状態に影響を及ぼす可能性があります。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	405,764	482,639
売掛金	126,915	80,431
前渡金	36,453	—
前払費用	582,418	164,693
その他	18,906	2,775
貸倒引当金	△65	△291
流動資産合計	1,170,393	730,248
固定資産		
有形固定資産	1,558	1,320
無形固定資産		
ソフトウェア	174	120
ソフトウェア仮勘定	27,453	103,315
権利金	36,054	28,042
その他	5,790	5,906
無形固定資産合計	69,473	137,384
投資その他の資産		
投資有価証券	375	394
長期貸付金	96,185	96,671
敷金及び保証金	5,408	6,377
破産更生債権等	23,062	23,062
その他	11,673	10,190
貸倒引当金	△20,303	△20,303
投資その他の資産合計	116,402	116,391
固定資産合計	187,435	255,095
資産合計	1,357,828	985,344
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,759	2,759
短期借入金	137,200	38,800
未払金	13,234	71,773
未払費用	52,973	48,994
前受金	26,922	42,862
前受収益	20,095	25,316
未払法人税等	1,240	868
その他	790	4,075
流動負債合計	255,215	235,450
固定負債		
長期前受収益	82,898	85,660
繰延税金負債	37	43
退職給付に係る負債	87,686	102,060
長期預り保証金	48,072	48,331
固定負債合計	218,694	236,096
負債合計	473,909	471,546

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,101,527	3,101,527
資本剰余金	1,657,072	1,657,072
利益剰余金	△3,408,970	△3,770,874
株主資本合計	1,349,629	987,724
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	86	98
為替換算調整勘定	△488,598	△487,040
その他の包括利益累計額合計	△488,511	△486,941
新株予約権	8,288	8,288
非支配株主持分	14,513	4,725
純資産合計	883,919	513,797
負債純資産合計	1,357,828	985,344

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	358,036	531,793
売上原価	74,313	210,538
売上総利益	283,722	321,255
販売費及び一般管理費	674,719	675,310
営業損失(△)	△390,996	△354,055
営業外収益		
受取利息	1,946	2,378
還付消費税等	1,702	—
その他	213	425
営業外収益合計	3,862	2,803
営業外費用		
支払利息	1,108	2,831
為替差損	3,835	11,833
その他	37	498
営業外費用合計	4,981	15,162
経常損失(△)	△392,115	△366,414
特別利益		
固定資産売却益	500	148
新株予約権戻入益	2,912	—
契約解除益	863	—
関係会社株式売却益	725	—
特別利益合計	5,001	148
特別損失		
契約解除損失	32,730	—
特別損失合計	32,730	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△419,844	△366,266
法人税、住民税及び事業税	5,988	4,870
法人税等合計	5,988	4,870
四半期純損失(△)	△425,833	△371,136
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△10,475	△9,231
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△415,357	△361,904



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純損失(△)	△425,833	△371,136
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11	12
為替換算調整勘定	8,311	1,002
その他の包括利益合計	8,300	1,014
四半期包括利益	△417,532	△370,121
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△406,941	△360,334
非支配株主に係る四半期包括利益	△10,591	△9,787

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

## (継続企業の前提に関する注記)

当社及び連結子会社（以下、「当社グループ」という。）は、前連結会計年度において営業損失426,822千円及び親会社株主に帰属する当期純損失470,952千円を計上しております。また、当第3四半期連結累計期間においても売上高は531,793千円と前年同四半期比48.5%の増加となったものの、営業損失354,055千円及び親会社株主に帰属する四半期純損失361,904千円を計上しており、現在の低迷した売上状況が継続すれば営業損失が継続し資金繰りに懸念が生じる可能性があります。当該状況等により継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当社グループは、当該状況を早期に解消又は改善すべく、以下の対応策を実施してまいります。

まず、スマートフォンアプリ事業において、グローバルライセンスを取得したゲームアプリ「Arcane（アーケイン）」の英語版、日本語版の提供及びその後の多国語展開を進め、収益化を目指します。

また、自社グループ開発のPCオンラインゲーム「Flyff（フリフ）」、「Rappelz（ラペルズ）」を題材としたゲームアプリの開発を進め、当該ゲームアプリの早期リリース及び収益化を目指します。

資金繰りにつきましましては、前連結会計年度に第三者割当による株式及び新株予約権を発行し、当該新株予約権の権利行使により、当面の事業資金として1,047,222千円を調達いたしました。

以上の施策を実施するとともに、今後も引続き有効と考えられる施策については、積極的に実施してまいります。

しかしながら、これらの改善策を実施してもなお、今後の売上高及び利益の回復は、組織体制の見直し、スマートフォン向けアプリの開発の進捗状況、市場投入の時期、市場での競争激化による環境の変化等に左右されることから、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、当社グループの四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成しており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を四半期連結財務諸表に反映しておりません。

## (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間（自平成27年4月1日至平成27年12月31日）

当社は、平成27年5月11日付で、Oakキャピタル株式会社から第三者割当増資の払込みを受けました。また、同日付でOakキャピタル株式会社に発行した新株予約権の一部が第1四半期連結累計期間に権利行使されました。

また、平成27年8月6日付でGala Lab Corp. が非支配株主から株主割当増資の払い込みを受け、資本剰余金が32,550千円増加いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間において、資本金が526,837千円、資本準備金が526,837千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が3,090,922千円、資本剰余金が1,651,931千円となっております。

当第3四半期連結累計期間（自平成28年4月1日至平成28年12月31日）

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	韓国	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	37,537	320,498	358,036	—	358,036
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	37,681	15,497	53,178	△53,178	—
計	75,219	335,995	411,214	△53,178	358,036
セグメント損失(△)	△269,254	△123,960	△393,214	2,218	△390,996

(注) 1. セグメント損失の調整額2,218千円は、セグメント間取引消去2,218千円であります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	韓国	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	262,063	269,730	531,793	—	531,793
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	24,638	50,050	74,688	△74,688	—
計	286,702	319,780	606,482	△74,688	531,793
セグメント損失(△)	△341,543	△73,191	△414,734	60,679	△354,055

(注) 1. セグメント損失の調整額60,679千円は、セグメント間取引消去60,679千円であります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。